

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン

第1087回

2014年4月8日(火) 晴 第35回

～雑誌月間～

斉唱 四つのテスト
出席 会員56名(出席率算入人数49名)
出席39名 出席率79.59%
前々回補填率80.00%(3月29日分)
ビジター 四日市RC 九鬼 紋七さん

4月の結婚記念日

11日 武藤 正行さん 20日 川瀬 悟さん
28日 大平 明子さん 28日 坂本 晃さん
28日 牧野 好弘さん 29日 入谷 直行さん
29日 木村 猛さん 30日 杉本 勇さん
30日 猪村 美之さん

会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。ビジターでお越しの四日市RCの九鬼さん、ようこそお越しくださいました。どうぞごゆっくりご歓談下さい。次年度、名古屋熱田ロータリークラブの会長をされるお嬢さんのお父さんです。宜しくお願いします。



皆さま、今年の桜はいかがでしたか? 京都では鴨川のあたりはとても綺麗に咲いていました。私の家の近くに笠寺観音がありますが、今年も綺麗に咲いています。

先週木曜日に南RCの森口会長と東南RCの玉木会長と私の3人で中京カントリーへ行ってきました。中京カントリーのクラブハウスは南RCの森口会長が設計されたそうで、工事前や工事中のお話をしながら楽しくプレーしてきました。

ロータリーに入会してから、沢山の人と出会い、思わぬ場所で声を掛けていただいている経験をした事も沢山あります。皆さまもロータリーを大いにエンジョイしていただき素晴らしい体験をもっともっとされると良いと思います。

以上で本日の会長あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 本多 利郎さん

1. 次回例会は4月15日で2RC合同例会となっております。場所はマリエカリヨン名古屋8階の「マリアテレサ」と言うお部屋になります。時間は18時からとなっております。送迎バスが17時と17時30分の2回、マリオットホテル1階の観光バス駐車場から発着しますので、バスに乗られる方は時間にお間違えのないようにお願いします。

副幹事報告

副幹事 児島 徳和さん

皆さま、こんばんは。今週日曜日、地区研修・協議会がごさいます。

今年度は、名札・資料等々が当日クラブ単位で渡されることになっています。私が事前に受け取り当日参加の方にお渡ししたいと思います。

なお、今年度は分科会単位でお座りいただく事になります。名南RCとして固まって行動することがございませんのでその点ご理解いただきたいと思ひます。

ニコボックス

- ◆ 四日市RCの九鬼紋七さん、ようこそお越しくださいました。 白藤 憲雄さん
- ◆ 職業奉仕委員長卓話します。理解出来てませんが、私なりに話します。御清聴願ひします。 木村 猛さん
- ◆ 本日は「委員会担当卓話」です。職業奉仕委員長木村猛さん楽しみにしています。よろしく願ひします。

川瀬 悟さん 伊藤 圭一さん 坂田 信子さん
犬飼りさ枝さん 浅井 浩さん 有川 英敏さん
安藤 修さん 東山 直史さん 坂本 晃さん
大平 明子さん 水野 俊男さん 川辺 清次さん
鈴井 一博さん 久米 伸治さん 吉木 邦男さん
田子 充浩さん 佐々木 暢さん 細井 俊男さん
新原 尚さん 森田敏二三さん 田中 一雄さん
大橋さなえさん 牧野 好弘さん 白坂 修二さん
三島多恵子さん 杉山 隆秀さん 三浦 隆さん
木下 福郎さん 長尾 浅吉さん 猪村 美之さん
中村 勝さん 本多 利郎さん

本日合計 38,000円 累計 1,118,000円

委員会担当卓話

■職業奉仕委員会 委員長 木村 猛さん

皆さま、こんばんは。本年度、職業奉仕委員長を仰せつかっております木村でございます。

まず、職業奉仕として働いたのは去年の10月15日に名古屋港海上交通センターで職場例会をやらせていただき、生憎の天気の中、多数の会員の皆さまにご出席いただきました。なかなか見る事の出来ない船の航行の所を見せていただき、昼はエンゼルパーク号に乗りお食事していただきました。



卓話は去年の2013-2014年度第2760地区内職業奉仕委員長会議に出席した時のお話を元に卓話させていただきたいと思っています。豊橋RCの村井總一郎地区職業委員長より「職業奉仕委員長になれば、一度は自分のクラブで卓話をしなさい」と言うご指導をいただきました。

五大奉仕委員会がありますが、クラブ奉仕は自分達のクラブの繁栄・規律の為に奉仕する事で、社会奉仕は同じように地域社会に貢献する事です。国際奉仕や青少年奉仕もそういう事ですが、職業奉仕の意味が委員長に就任する前までは「自分の職業で世の中の為になる事」が職業奉仕だと思っていましたが、ある時、当クラブの会員に「それは間違いだよ」とご指導いただきました。

先程の四つの奉仕は相手（他人）に対して奉仕するのですが、職業奉仕は自分にする事です。奉仕=サービスですが、自分に帰ってくるサービスが職業奉仕ではないかと私なりに思っています。職業奉仕というのは皆さま方も会社の事業や経営をなさっているとします。また、委員長会議で『ロータリーの樹』のお話があり、根元がクラブ奉仕、幹が職業奉仕、国際奉仕や青少年、社会奉仕、ロータリー財団等が枝や葉や花が咲いて実がなります。職業奉仕の幹が太くなればなるほど枝も花も実もたくさん成ります。たくさん成ってまた自分の元へ戻ってくるので一生懸命職業奉仕しなさいと言っていました。

例えば日本でも『情けは人の為ならず』と言う言葉があり、情けをかけるとその情けがまた自分に返ってくると言う精神と似たようなところもあるのかなあと思いました。

そして、職業奉仕には奉仕の理念があり、アーサー・フレデリック・シェルドンが“He profits most who serves his fellows best”（最も良く奉仕する者が最も多く報いられる）事業繁栄を願う職業奉仕の理念であると言っています。

1900年代のシカゴは商徳が酷いものであったのでシェルドンは販売学から職業奉仕を提唱し「騙すより騙されるほうが悪い」と言われる中、事業が継続し発展する条件とは①適正な価格②経営者・従業員の接客態度③品揃え④公正な広告⑤取扱商品に対する知識⑥アフター・サービスの6点を挙げこれらの総合した概念をシェルドンのサービスと言うそうです。顧客の満足度を上げてリピーターを獲得すると言うのも職業奉仕の理念だそうです。

もう一つの理念は、ベンジャミン・フランク・コリンズが提唱した“Service above self”（超我の奉仕）弱者を助ける人道的奉仕活動の理念です。職業奉仕は奉仕する心を持って職業を営みなさいと言っていて、最も良いサービスをした会社は、最も多くリピーターを獲得し会社は栄えます。

ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあり、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓舞し、これを育成し、特に次の各項を鼓舞育成することにあるとしています。有益な事業の基礎は成長するため、継続させるため、発展させるためなので奉仕する心をもって事業をやりなさいと言われました。

そして四つのテストについてですが、ハーバートJ・テラーがクラブアルミニウム社を立て直した時に四つのテストが役立ち会社を立て直すことが出来たと言っています。①（Is it the Truth?）嘘や偽りはないか?ごまかしはないか②（Is it Fair to all concerned?）すべての関わりある人達に公正か?③（Will it build Good Will and Better Friendships?）信用を高め、取引先を増やすかどうか?自分の行動が善意となって現れているか?④（Will it be Beneficial to all concerned?）すべての関わりあう人達のためになろうと考えて、自分の職業生活に従事しているか?の四つが要約ですが、私自身会社のあらゆる事が出来るのかどうか少し疑問を持っています。

今期の職業奉仕委員会としての理念・方針の中では、日常の職業業務があってロータリーの活動があるので、四つのテストの理念を持って各会員の職業の価値を認め、奉仕の理念を持って道徳的水準と品位を高めることに努力すると書きましたが、今は以前思っていたことと少し違っているなあと思います。

我々ロータリアンは一会員で、各々経営者であったり事業をやってみえて、その中で会社のために良くしようという観念はどなたも持ってみえるし、職業奉仕委員会をやると経営コンサルタント的な感じでロータリーの中に職業奉仕があるのはどうなのか?と思いました。そして職業奉仕を考える時にその先には地域の社会奉仕や国際奉仕も考え、更にその先には次世代の青少年のことも考える事です。ロータリーは職業奉仕を通じて奉仕活動を行いながらお互いの倫理観を高めようとする運動を行う団体であり、その根幹は「愛」であり「思いやりの心」であります。

職業奉仕はロータリーの活動の根幹として歩んできた考え方（理念・理想）であるが、今国際ロータリーは職業奉仕の解釈を変えつつある。職業奉仕をいつまでも歴史的な解釈で金科玉条のごとくとらえず、その成り立ちを踏まえて今後のロータリーの活動に活かすことを考えていかないと、職業奉仕はいずれ活動の中で、安楽死を迎えるかもしれない。というのが、職業奉仕委員長会議の内容です。これをもちまして私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

第 1090 回例会（5月13日）のご案内

委員会担当卓話
環境保全・保健問題委員会